

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

両外耳道閉鎖症に対する軟骨伝導補聴器の適応聴力の検討

1. 対象となる患者さん

2018年1月～2025年10月の間に当院で両外耳道閉鎖症の難聴のため、軟骨伝導補聴器をフィッティングし、聴力検査を実施した患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 めまい・難聴センター 西村 忠己

3. 研究の目的と意義

両外耳道閉鎖症に対する軟骨伝導補聴器の適応基準は、通常の軟骨伝導の閾値測定が困難であるため、代わりに気導および骨導聴力の値を基に判断されています。特に「骨導閾値40dB以内」という基準が用いられることがあります。これは人工マストイドの測定値から推定されたもので、臨床的妥当性は十分に検証されていません。

この研究では、当院で軟骨伝導補聴器を装用した両外耳道閉鎖症の患者さんの診療データを解析し、この骨導閾値を用いた適応基準が実際の臨床において妥当かを明らかにすることを目的としています。

研究の成果は、軟骨伝導補聴器の適応判断の精度向上や、より有効な補聴器選択につながることを期待されます。

4. 研究の方法

対象となる患者さんのカルテから、純音聴力検査結果、補聴器適合検査の結果および関連する診療情報を収集し、補聴効果を適合検査指針（2010）に基づいて評価します。これにより、骨導閾値40dB以内という適応基準の妥当性を検証します。

5. 使用する情報

生体試料：使用しません

診療情報：年齢、性別、診断名、純音聴力検査結果、補聴器適合検査結果

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2026年4月30日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 めまい・難聴センター 西村 忠己

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：t-nishim@naramed-u.ac.jp